

「海の日」モデル地区の認定について

《市長コメント》

石巻市は、今般、『国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会』から「海の日」モデル地区の認定を受け、去る9月26日、豪華客船「ぱしふいっくびーなす」が寄港中の石巻港大手埠頭において、認定証の交付式が行われ、公益財団法人 日本海事広報協会 ^{とよしま} 豊島理事長から認定証を交付していただきました。

「海の日」モデル地区の認定は、海の大切さを理解し感謝する国民の祝日「海の日」の趣旨に沿って、海、港湾、海事関係など海を活かしたまちづくり等に熱心に取り組んでいる地域をモデル地区として、毎年全国で1か所が認定し、海とともに歩む地域としてさらなる発展を願うため行われています。

今回、石巻市の、特に石巻港における「港湾感謝祭」、「大型客船の寄港誘致活動」などの海、船、港に親しむ取り組みが、「海の日」の趣旨普及に大きく貢献していることが評価され、認定をいただいたものであります。

また、今回認定証を交付していただいた 公益財団法人 日本海事協会におかれましては、青少年の海事意識啓発事業の一環として、去る7月13日には石巻市立二俣小学校、8月31日には石巻市立須江小学校を水族館見学に招いていただきました。未来を担う子供たちの海への関心と理解を育てるために大変重要な事業であります。日本海事協会には感謝申し上げます。

この「海の日」モデル地区認定を大きな弾みとして、石巻港の一日も早い復旧・復興とさらなる発展をめざし、また、市民の方々に海や港に親しんでいただくように、引き続き取り組んでまいりたいと思います。